

秋田県産ネギ品質査定会 10月20日(金)

毎年、県外出荷を行っている県内JA産のネギが東京都大田市場に集められ、京浜市場関係者がそれぞれの品質を審査します。今年も10月20日(金)に開かれ、揃いや長さ、光沢や葉の枚数などが評価されました。



県内合同での圃場巡視会・情報交換会 10月24日(火)

県内各地のJAや県農業試験場、地域振興局などが参加する圃場巡視会が行われ、秋田市雄和の(農)アグリあいかわの圃場を視察しながら各産地での生育について話し合いました。販売実績や、湿害や干ばつ害の対策などについても情報を交わすなど、品質や収量の向上に向けて、管内外を越えて県内一丸で取り組んでいます。



販売力の強化

袋ネギの出荷によって売り場で産地PR

なまはげをあしらった当JA専用の袋による出荷を7月から新たに始め、管内のスーパーの一部店舗や物産イベントなどで販売してきました。11月からは県外への出荷もスタートし、県内外での産地の認知度向上を図ります。



(農)平沢ファーム (秋田市雄和)

秋田市雄和の園芸メガ団地でネギ1.6haを手掛ける(農)平沢ファームは、稲刈り期間中なども含めて、県内外へコンスタントに出荷を続けています。「今夏は降雨や高温などで畑に入れず、土寄せなどの作業が捗らないときがありました。収量は少し減少したものの、単価が高く推移したこと大きなダメージにはなりません」と、今年度のこれまでを振り返ります。

今の時期は朝露がつくため、泥による汚損や機械類の故障などを防ぐために、収穫後にネギを屋外に並べて日光でよく乾かしてから調製作業に入ります。また、今年からは全量結束して出荷するなど、手間を惜しまずに、農業所得の向上や作業の効率化に励んでいます。同ファームの今年度の出荷は11月20日頃まで続く予定です。

ネギの新規作付けや販売実績の詳細などについては、
営農指導員までお気軽にご相談ください。